

## 「TOYOTA AUTO BODY Open Innovation Program」始動

～ 共にあらゆる社会課題の解決に取り組む、未来に幸せをハコブ、パートナー企業を募集！ ～

トヨタ車体株式会社（本社所在地：愛知県刈谷市、代表取締役・社長：増井 敬二、以下「トヨタ車体」）は、クルマづくりで培ったシーズを活用し、モノづくりを通じて社会課題の解決に取り組むプログラム「TOYOTA AUTO BODY Open Innovation Program」を本日より始動し、共に未来に幸せをハコブ、パートナー企業の募集を開始します。

### ■トヨタ車体「TOYOTA AUTO BODY Open Innovation Program」について

トヨタ車体は、ミニバン、商用車、SUVの完成車両メーカーです。後部空間を重視したハコっぽい車や世界中の人や物を運ぶクルマでお客様への移動の自由を提供しています。現在、自動車業界は、CASE・MaaSの進展で、100年に一度の大変革期を迎えています。この大変革期に、“ハコブ”という信念のもと、新たな価値を生み出し、社会・世界に貢献していきたいと考え、「TOYOTA AUTO BODY Open Innovation Program」を立ち上げました。ここに、トヨタ車体のクルマづくりで培われた独自シーズと、解決したい社会課題が集結しています。新たな価値創出を実現していくべく、共に未来に幸せをハコブ、パートナー企業をお待ちしております。

### ■トヨタ車体「TOYOTA AUTO BODY Open Innovation Program」3つの募集テーマ

#### テーマ1：クルマづくりを“変えてきた”生産技術で、農業をエコで効率的に“変える”

近年、持続可能な農業への改革が求められており、コストと環境の両方で、当社の生産技術が活かせると考えました。新たな熱源と動力を用いることで、農作業の効率化に貢献していきたいと考えています。

#### テーマ2：避難時の要“防災倉庫”を進化させる防災性と利便性を高めた新たなハコの創出

局地災害が多発する日本では人命救助・被害拡大阻止の陰に隠れ、避難先のケアが十分でない場合があります。中でも一次避難の要である「防災倉庫」は必ず生活圏の中に存在しているものの認知度は低く、有効な活用がなされていません。この状況を打破し、新たな一次避難の形の実現を目指します。

#### テーマ3：捨てない社会を目指して。間伐材から生み出した独自素材によるエコなモノづくりの拡充

トヨタ車体は、カーボンニュートラルに繋がるクルマづくりを進める中で、間伐材を利用した射出成型用材料TABWD<sup>®</sup>（タブウッド）を開発しました。捨てずに循環できるこの素材を広め、あらゆるモノづくりの脱炭素化に貢献していきたいと考えています。

この運営全般には、eiicon company\*（所在地：東京都港区南青山、代表：中村 亜由子）が運営する日本最大級のオープンイノベーションプラットフォーム「AUBA（アウバ）」にサポートをいただいております。

### ■トヨタ車体「TOYOTA AUTO BODY Open Innovation Program」募集ページ

<https://eiicon.net/about/toyota-auto-body-oi2022/>

【応募資格】・法人登記がされていること。企業規模は問わない。

・ソリューションやプロダクトを保有していること。

【募集締切】2022年12月16日（金）

\*eiicon company（エイコンカンパニー）

パーソルイノベーション株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 長井 利仁）の社内ベンチャー企業。

2017年2月設立。オープンイノベーションプラットフォーム「AUBA」の運営、事業を活性化するメディア「TOMORUBA」の運営、オープンイノベーションに関するプロモーション支援、コンサルティングサービス、イベント企画・支援サービスを提供。

■本プログラムについての問い合わせ先：トヨタ車体 経営企画部 山口まで

SATOSHI.YAMAGUCHI@mail.toyota-body.co.jp